

## 社会科 授業デザイン

日 時：平成 25 年 12 月 6 日（金）第 4 校時（11 時 35 分～12 時 20 分）  
 学 年：小学部 6 年  
 授 業 場 所：本校 小学部 3 組教室（6 年教室）

1. 単元（題材）名

「新しい日本，平和な日本へ」

2. 単元（題材）の目標

日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて聞き取り調査をしたり資料を活用したりして調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて考え，表現する。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 6 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	・「戦争のない世の中を目指して」 同じ場所を撮影した 3 枚の写真を見て気付いたことや思ったことを話し合う。	・ IWB・TPC・ 教材提示装置
第 2 時	・「民主主義による国をめざして」 戦後，どのような改革が行われたのかについて調べる。	・ IWB・TPC
第 3 時	・「再び世界の中へ」 戦後の日本と諸外国との関係について調べる。	・ IWB・TPC
第 4 時	・「高度経済成長のなかのオリンピック」 高度経済成長のなかで，日本がどのように発展していったのか調べる。	・ IWB・TPC
第 5 時 (本時)	・「これからの日本を考えよう」 残された問題を調べ，これからの日本のあるべき姿を話し合う。	・ IWB・TPC
第 6 時	・「学習のまとめ 上巻をふり返って」 学習問題について話し合い，歴史学習を通しての思いを作文にまとめよう。	・ IWB・TPC

4. 本時の目標

現在の日本に残る解決すべき課題やこれからの日本の果たす役割について考え，適切に表現する。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	・児童〔個別学習 ・協働学習 〕 ・指導者〔・コンテンツ提示 ・資料提示〕
活用するコンテンツ	デジタル教科書，コラボノート，歴史デジタル教材
活用する機器	・ IWB ・TPC

## 6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p><b>一斉学習</b></p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <p>残された問題を調べ、これからの日本のあるべき姿を話し合おう。</p>	IWB (指導者)	【IWBでデジタル教科書と前時までのコラボノートを提示する】
展 開	<p><b>個別学習</b></p> <p>○現在の日本にはどのような課題や問題があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄り・障害のある人たち・子ども女性の権利</li> <li>・差別をなくす問題</li> <li>・アイヌ民族，在日韓国・朝鮮人，外国人やハンセン病などの病気にかかった人たちへの偏見・差別</li> <li>・公害，食糧自給率の低下，経済不況，戦争と平和などの問題</li> </ul>	TPC (児童)	<p>【P148の例をもとに，様々な問題が残されていることをデジタル教科書で確認する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会にはさまざまな人権問題があることをとらえ，歴史学習を人権の視点で振り返る。</li> </ul> <p>【グループでお互いのコラボノートの書き込みを確認しながら，話し合いを進める】</p>
ま と め	<p><b>協働学習</b></p> <p>○現在の日本に残る課題や問題を踏まえ，日本はどのような国になるべきか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数グループで話し合う。</li> </ul> <p>○話し合ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと平和で豊かになりたい。</li> <li>・まわりの国々と仲良くしていきたい。</li> <li>・一部の人だけじゃなくて，みんなが笑顔でいられる国にしたい。</li> </ul>	<p>TPC (児童)</p> <p>IWB (指導者) (児童)</p>	【IWBでコラボノートを提示する】

## 7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

課題解決に向けて，自分の立場や意図をはっきりさせて話したり書いたりしようとしている。

## 8. 準備物

IWB，TPC，デジタル資料（デジタル教科書・コラボノート・歴史デジタル教材）